

2019年度 教員免許状更新講習及び免許状認定講習 講座概要

講習の名称	講習の概要
【必修】教育の最新事情	本講習は小学校教諭・幼稚園教諭・養護教諭を対象とした、必修となる国の教育政策や世界の教育の動向、教員としての子ども観、教育観等についての省察、特別支援教育に関する内容を含めた子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見や学級担任の役割、カウンセリングマインドの必要性をすべて含めた内容である。講義と演習という形式により実施する。
【選択必修】小・中学校期の教育相談 (いじめ・不登校への対応を含む。)	心理発達上の問題を抱えて支援を必要としている児童生徒に対し、教員としてどのように関わっていくのかをテーマに、臨床心理学的見地から講義・演習を行います。日常的に行っている「相手の話をよく聞き、どのように役に立てるかを考え、それを実行する」という他者への関わりを、効果的に実践するヒントが得られるよう、教育相談について考えていきます。
【選択必修】幼児期の教育相談 (いじめ・不登校への対応を含む。)	幼稚園教諭免許状及び養護教諭免許状所持者である保育者等を対象とした講習である。いじめ、不登校に関する現状や対応方法の概論に続いて、乳幼児期の発達上の問題や虐待等の家庭環境の問題を概説する。そして、幼児期の教育相談や子育て支援の方法、アセスメントについて検討する。
【選択必修】小学校の道徳教育	平成27年3月の学習指導要領の一部改正により、「道徳の時間」は、「特別の教科 道徳」となりました。3年間の移行期間を経て、小学校では平成30年度から、中学校は31年度から全面实施となる。そこで、「教科」時代の道徳授業づくりと題して、①学習指導要領改正のポイント②読み物資料分析のポイント③発問の工夫、指導案作りのポイント等を、グループ演習形式で行います。
【選択必修】小学校の英語教育	日本人教員が取り組める英語活動を主眼とし、ワークショップ形式で、参加者全員で取り組んでいきます。ワークショップには、プレゼンテーションツールを使ったストーリー・テリングやハイフレンズに基づくアクティビティなどが含まれます。また、小学校の英語教育についての現場の取組みや状況を整理し、今後の課題について参加者でグループディスカッションを行う予定としています。受講対象者は小中連携の観点から中学校教諭も対象とする。
【選択必修】児童期の国際理解 及び異文化理解教育	多様な社会的文化的背景を持つ他者を理解し、共生する方法を考えさせる手法を考察する。午前の部では、移民の国として始まった米国で、多様な人種・民族がどのように衝突し、それを克服してきたのか、また残された課題は何かについて大まかに説明する。午後の部では、日本国内における外国人を取り上げ、教師自身の異文化に対する偏見や無知について考える。またワークショップ形式で児童の国際理解及び異文化理解の活動を考える。

2019年度 教員免許状更新講習及び免許状認定講習 講座概要

講習の名称	講習の概要
【選択】情報教育「パソコン実習」 (ワード・エクセル)	40名程度を1クラスとして、1日6時間以上として実施する。コンピュータ教室において数名の補助者と共に講師1名が実習形式で実施する。講習は、事前の課題意識調査の結果をもとに受講者の技能を考慮して実施する。講習の内容は「Wordで学級通信づくり」と「Excelで成績処理」の2つの内容を組み合わせる。
【選択】教材研究「国語」	40名程度を1クラスとして、1日6時間以上として実施する。読解力の向上にかかわる国語教材の内容(物語構造や分析の観点など)やことばに関する内容(敬語やことば遣いなど)について講義・演習を行うとともに、現行の学習指導要領・国語科に示された「伝統的な言語文化に関する事項」にかかわる漢字や漢文などについて講義と演習を行う。
【選択】教材研究「体育」	本講習では小学校教諭を対象に20名程度を1クラスとして、ボール運動の技術と戦術について、実技と講義を交えながら検討していきます。また、種目横断的なプログラムを紹介し、プログラムの実践を通してボール操作、戦術学習に関する理解を深めることで、指導力向上を目指していきます。
【選択】音楽活動「身体・器楽・声による表現」	主として幼稚園教諭を対象に30名程度を1クラスとして、1日6時間以上として実施する。午前は子どもと楽しむ運動遊びや器楽(楽器)の音楽表現について、また午後からは声楽や器楽(ピアノ)の音楽表現について実技をまじえて講義と演習形式で講習を実施する。
【選択】発達障害のアセスメント	幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭を対象に、1日6時間以上として実施する。特別支援教育の実施に伴い、発達障害のある子どもへの対応が求められている。そこで、発達心理学の立場から「アセスメントの概論」「各種検査方法の理論と実際」「個別の指導計画の考え方と作成方法」について講義と演習形式で実施する。
【選択】コミュニケーション・トレーニング	主に心理学を専門とする講師によって、コミュニケーション能力を高めるために自己理解や他者理解を深めることを目的とする。コミュニケーションのための技能の習得だけではなく、コミュニケーションを深めるための基礎理論を講義により学び、ワークショップを通して実践的な技能を高めることを目指すものである。教育心理学、認知心理学、社会心理学のそれぞれの立場から幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭を対象として実施する。
【選択】教材研究「図画工作」	日頃の指導、授業展開などで実践していることとは別に新しい視点で製作活動に取り組むことで様々な気づきや発見を通して図画工作の持つ魅力を深く感じて頂きたい。苦手意識の高い教諭にも図画工作の魅力を再認識してもらえる内容とした。
【選択】教材研究「和楽器 箏の魅力」	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭を対象に、講義とグループ実技をまじえて和楽器の教材研究を行います。今年度は、箏の基礎的な知識や箏曲と言われるジャンルについて歴史的に概観するとともに、箏を実際に弾き、合奏の楽しさを味わっていただきます。また、箏を導入する際の手だてや少ない箏での効果的な指導法、奏法の工夫や教材化の検討を通して、箏の教材としての魅力を先生方と一緒に考えます。
【選択】子どもが育つ運動遊び	幼児期における運動遊びの意義を実技中心に講習を行います。午前は、「幼児期運動指針」をもとに幼児期の運動遊びの意義を理解します。さらに、緊張感をほぐし、参加者同士の交流を深める「アイスブレイキング法」を学びます。午後は、子どもが運動する意欲につながる関わり方や言葉がけについて「ロールプレイ」を行います。最後に、「用具を使った集団で行う運動遊び」を全員で行います。

2019年度 教員免許状更新講習及び免許状認定講習 講座概要

講習の名称	講習の概要
【選択】教材研究「算数」	新学習指導要領の趣旨を踏まえ、算数科において「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業づくりについて考える。その際、算数科における課題づくりや学習形態の工夫などに焦点化し、具体的な事例から実践化を図る。
【選択】ICT実践活用	H32(2020)年度からの新小学校学習指導要領において、プログラミング教育が必修化されることを踏まえ、本講習ではプログラミング教育が導入されることになった背景を学ぶとともに、プログラミング教育のツールとして利用が広がっている簡易プログラミング言語の使い方を習得します。また、情報活用能力における思考力の一つとしてプログラミング的思考を位置づけたカリキュラム・マネジメントを行うことについて理解を深めます。
【選択】子どもの身体と心の健康	幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭を対象とします。子どもの身体と心の健康に関して、医科学や保健学の観点から講義と演習形式による講義を行います。現在、社会状況等の変化に伴い、ストレスによる心身の不調など課題を抱える子どもへの対応について学び、子どもが生涯にわたり、自己の健康管理と安全確保ができる素養育成の方策について考えます。
【選択】情報教育「パソコン実習」 (エクセル・パワーポイント)	40名程度を1クラスとして、1日6時間以上として実施する。コンピュータ教室において数名の補助者と共に講師1名が実習形式で実施する。講習は、事前の課題意識調査の結果をもとに受講者の技能を考慮して実施する。講習の内容は「Excelで成績処理」と「PowerPointで教材づくり」の2つの内容を組み合わせる。
【選択】教材研究「社会」	4名の講師によって、午前は、フィールドワークとして本学周辺の羽曳野市の歴史的遺産について現地調査を実施する。午後は、社会科の授業分析の視点と方法について、VTRなどによる授業実践例の分析を通して修得するとともに、学習指導要領の改訂点にポイントを当てて、それに即した授業改善・授業づくりの視点と方法について、講義や演習を通して修得していく。
【選択】造形活動「かく・つくる・あそぶ」	1クラス50名程度で、1日6時間以上として実施する。講義と実技形式によって、幼稚園で活用できる造形表現の研究を行う。制作物を作成し実技考査による修了認定を行う。
【選択】教材研究「理科」	学習指導要領・理科の目標として掲げられた「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を持った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。」ことをふまえ、一人ひとりが実験を行うマイクロスケール実験についての講義とICTを活用した実験・実習を実施する。
【選択】教育心理学	幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭を対象とする。幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭の各二種免許状所持者の上進のための認定講習でもある。教職に関する科目である「教育心理学」に関する内容である。学習、意欲、知能、教育評価、学級集団、不登校・いじめ、発達障害、特別支援教育等について講義と演習形式により実施する。
【選択】学校保健	教育の場における児童・生徒及び教職員の健康に関する諸問題について学習する。保健教育と保健管理、保健組織活動、家庭、地域、行政・社会に求められる健康保持増進のあり方を考察する。養護教諭の二種免許状所持者の上進のための認定講習でもある。